

パオちゃん's EYE

2023年10月1日 発行 No.79



大分県で撮影したヒゴタイ



岡山県産のヒゴタイ標本

ヒゴタイ

ヒゴタイ *Echinops setifer* はキク科ヒゴタイ属の多年草で、夏に青紫色の花を咲かせます。日本では九州と本州（中国地方～中部地方）に、海外では朝鮮半島と中国に分布し、大陸系の植物と考えられています。属名 *Echinops* はラテン語で「ハリネズミ（もしくはウニ）に似た」の意味で、棘のある丸い花序をハリネズミなどに見立てたようです。一方、和名ヒゴタイの由来はいくつかの説があり、はっきりとしないようです。

ヒゴタイはアザミの仲間などに似た見た目をしていますが、花の構造は異なります。アザミの仲間では、一つの花に見える部分は、複数の”小花”（小さな花）で構成される”頭花”と呼ばれるものです。一方、ヒゴタイでは、一つの花に見える部分は多数の頭花の集まりで、さらに頭花1個は小花1個から成ります。1頭花が1小花から成るキク科植物は珍しく、日本ではヒゴタイとクサヤツデのみが持つ特徴です。

ヒゴタイは絶滅の恐れがある植物であり、環境省レッドリストで絶滅危惧II類(VU)と評価されています。岡山県にもかつては分布していましたが、現在は絶滅したと考えられています。倉敷市立自然史博物館では、岡山県産の貴重な標本を収蔵しています。本標本は「秘蔵お宝展」（10月9日（月）まで）にて展示中で、展示後は収蔵庫にてご覧いただくことができます。

鐵 慎太郎(植物担当)

パオちゃんズアイにに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには

いろんな情報がいっぱい♪

「倉敷市立自然史博物館」で

検索してみよう! パオより

